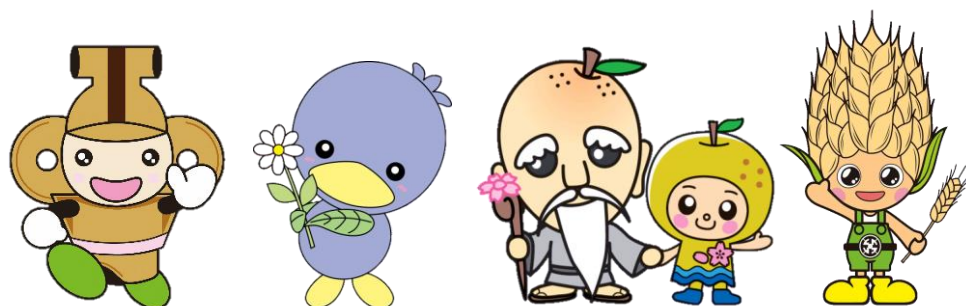


本庄地域定住自立圏共生ビジョン
令和5年度 取組進捗状況報告書



令和5年度 作成

本庄市・美里町・神川町・上里町

-目次-

1. 令和5年度取組進捗状況報告書について	2
2. KPI の進捗評価結果（概要）	2
3. 共生ビジョンに記載された各事業の実施状況について	
<u>(1)生活機能の強化に係る政策分野（4P～35P）</u>	
ア 医療	4
イ 福祉	10
ウ 産業振興	22
エ 文化	31
オ その他	34
<u>(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野（36P～60P）</u>	
ア 地域公共交通	36
イ 道路等の交通インフラの整備	54
ウ 地域の生産者や消費者等の地域連携による地産地消	58
<u>(3)圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野（61P～65P）</u>	
ア 人材の育成等	61

1. 令和5年度取組進捗状況報告書について

本庄地域定住自立圏共生ビジョンに記載された 35 の事業について、政策分野毎に設置された本庄地域定住自立圏構想推進協議会作業部会(WG)より提出された令和 5 年度の各事業における KPI(重要業績評価指標)^{※1}の進捗評価、及び取組状況報告をまとめたものです。

※1 KPI : 各事業の進捗管理を行うために設定された指標。定量的な成果を把握するため、共生ビジョンの計画期間毎に「基準値」と、計画終了年度における数値目標である「目標値」を設定し、それを元に事業の進捗管理を行う。

2. KPI の進捗評価結果(概要)

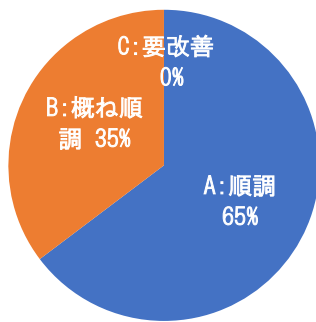
() 括弧内は前年度数値となります。

政策分野	取組 事業数	進捗評価		
		A: 順調	B: 概ね順調	C: 要改善
1. 生活機能の強化に係る政策分野	17	11(8)	6(9)	0(0)
医療	3	2	1	0
福祉	6	5	1	0
産業振興	6	2	4	0
文化	1	1	0	0
その他	1	1	0	0
2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	14	2(3)	12(10)	0(1)
地域公共交通	9	0	9	0
道路等の交通インフラの整備	3	2	1	0
地域の生産者や消費者等の 地域連携による地産地消	2	0	2	0
3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	1(3)	3(1)	0(0)
人材の育成等	4	1	3	0
合計	35	14(14)	21(20)	0(1)

参考：視点毎の進捗評価グラフ

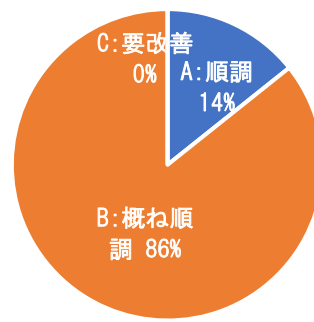
生活機能の強化

■ A: 順調 ■ B: 概ね順調 ■ C: 要改善



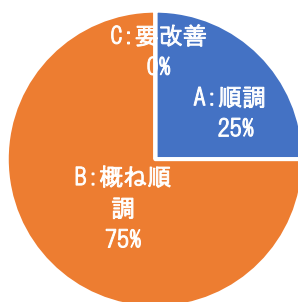
結びつきやネットワークの強化

■ A: 順調 ■ B: 概ね順調 ■ C: 要改善



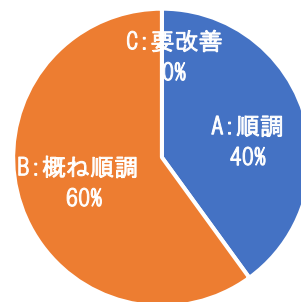
圏域マネジメント能力の強化

■ A: 順調 ■ B: 概ね順調 ■ C: 要改善



全体

■ A: 順調 ■ B: 概ね順調 ■ C: 要改善



3. 共生ビジョンに記載された各事業の実施状況について

1. 生活機能の強化に係る政策分野

■医療分野

分野基本目標 KPI

指標		救急車の適正利用率(救急搬送のうち軽症者を除く割合)			
基準値(H30)		60.10%	目標値(R6)		65.00%
実績 (年)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	62.04%	62.42%	64.19%	62.10%	64.00%

(ア)医療体制の充実

事業 No	1	事業名		救急医療対策事業(初期救急)		
取組内容	本庄市児玉郡医師会、歯科医師会と連携して圏域の休日・夜間の初期救急医療体制や年末年始の歯科診療体制を確保する。また、救急医療需要調査事業と併せて、平日夜間における初期救急医療体制の拡充に向けた検討を進める。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	12,293	2,748	2,863	5,535	23,439	
R5(予算)	12,339	2,728	2,858	5,514	23,439	
KPI 進捗状況	指標		平日夜間診療日数			
	基準値(H30)		49 日	目標値(R6)		50 日
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		51 日	49 日	49 日	48 日	50 日
	R5 進捗状況					進捗評価
	休日・夜間の初期救急医療体制や年末年始の歯科診療体制を確保している。					A
今後の展開 課題等	休日・夜間の初期救急医療体制や年末年始の歯科診療体制を確保するため、引き続き本庄市児玉郡医師会、歯科医師会との連携を図っている。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

軽度・軽症患者を対象とした初期救急医療の対策として、本庄市児玉郡医師会、歯科医師会の協力のもと、休日急患診療所や在宅当番医等の運営経費に対して必要な財政的支援を行い、圏域住民に対する初期救急医療体制の確保・充実を図りました。

・休日急患診療業務事業

休日・祝日・年末年始 9 時～正午、13 時～16 時、19 時～22 時

平日木曜日夜間(H29.7 月開始) 20 時～22 時

・在宅当番医制運営事業

休日・祝日 9 時～正午 医師会による輪番 1 か所

・年末年始休日歯科診療業務委託

12 月 30 日～1 月 3 日 10 時～正午 歯科医師会による輪番 2 か所

・休日急患診療業務事業(R5.4～R5.12)

休日 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
52 日	1,477 人	177 人	118 人	536 人	201 人	2,509 人
1 日当り	28.4 人	3.4 人	2.3 人	10.3 人	3.9 人	48.2 人

平日夜間 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
37 日	68 人	2 人	1 人	22 人	7 人	100 人
1 日当り	1.8 人	0.1 人	0.1 人	0.6 人	0.2 人	2.7 人

・年末年始休日歯科診療業務委託(R5.12.30～R6.1.3)

診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
5 日	12 人	4 人	1 人	7 人	2 人	26 人
1 日当り	2.4 人	0.8 人	0.2 人	1.4 人	0.4 人	5.2 人

【参考】令和 4 年度実績

・休日急患診療業務事業(R4.4～R4.12)

休日 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
52 日	647 人	56 人	34 人	197 人	78 人	1,012 人
1 日当り	12.4 人	1.1 人	0.7 人	3.8 人	1.5 人	19.5 人

平日夜間 診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
36 日	27 人	1 人	2 人	12 人	4 人	46 人
1 日当り	0.8 人	0.1 人	0.1 人	0.3 人	0.1 人	1.3 人

・年末年始休日歯科診療業務委託(R4.12.30～R5.1.3)

診療日数	受診者数(居住地別)					
	本庄市	美里町	神川町	上里町	その他	計
5 日	20 人	1 人	2 人	7 人	6 人	36 人
1 日当り	4 人	0.2 人	0.4 人	1.4 人	1.2 人	7.2 人

事業 No	2		事業名	救急医療対策事業(第二次救急)		
取組内容	休日・夜間の第二次救急医療体制の確保を目的とした病院群輪番制病院の運営事業費補助などを実施する。また、群馬県内の医療機関との連携についても進める。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	39,487	5,592	5,533	12,813	63,425	
R5(予算)	43,816	6,310	6,169	13,971	70,266	
KPI 進捗状況	指標		後方支援病院			
	基準値(H30)		2 病院	目標値(R6)		2 病院
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2 病院	2 病院	2 病院	2 病院	2 病院
	R5 進捗状況					進捗評価
	病院群輪番制や小児の二次救急診療等の運営経費に対する財政的支援を行い、第二次救急医療体制の確保・充実に努めている。また、群馬県内の医療機関との連携も進めている。					A
今後の展開 課題等	県外小児救急医療後方支援病院における患者の受け入れ日は、群馬県の輪番体制により決まっているため、受け入れ日の減少が懸念される。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

入院や手術を必要とする第二次救急医療の対策として、病院群輪番制や小児の二次救急診療等の運営経費に対する財政的支援を行い、第二次救急医療体制の確保・充実に努めました。また、群馬県内の医療機関との連携も図りました。

・病院群輪番制病院運営事業

休日・祝日・年末年始の 8 時～18 時、全日の 18 時～翌 8 時 本庄市内 6 病院の輪番

・小児二次救急診療業務

休日・祝日・年末年始の 8 時～18 時、全日の 18 時～翌 8 時 県北 4 市 4 町を対象とし、深谷赤十字病院、熊谷総合病院、行田総合病院で実施

・医師派遣事業負担金補助

県立小児医療センター、埼玉医科大学の医師を深谷赤十字病院等へ派遣し、県北地域における小児二次救急の医療体制を確保

・県外小児救急医療後方支援 病院負担金補助

公立藤岡総合病院、伊勢崎市民病院への助成

【参考】令和 4 年度実績

・病院群輪番制病院運営事業(R4.4～R5.3)

輪番病院	受診者数	備考
本庄総合病院・岡病院・青木病院・ 鈴木外科病院・児玉中央病院・ 本庄駅前病院	3,398 人	居住地別集計データはなし

・小児二次救急診療業務(R4.4～R5.3)

受入病院	受診者数	備考
深谷赤十字病院・行田総合病院・ 熊谷総合病院	4,421 人	居住地別集計データはなし

事業 No	3	事業名	救急医療に関する啓発事業			
取組内容	救急医療に関する啓発用チラシの作成などにより、受診時の留意点等を周知し、救急医療の適正受診を呼びかける。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	0	0	0	162	162	
R5(予算)	0	0	0	0	0	
KPI 進捗状況	指標		救急車の適正利用率(救急搬送のうち軽症者を除く割合)			
	基準値(H30)		60.10%	目標値(R6)		65.00%
	実績 (年)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		62.04%	62.42%	64.19%	62.10%	64.00%
	R5 進捗状況					進捗評価
	広報紙、HP等により適正受診を呼びかけている。					B
今後の展開 課題等	救急医療体制を確保するため。適正受診について、さらなる啓発が必要である。					

【令和 5 年度 of 取組状況(見込み)】

かかりつけ医の重要性、休日急患診療所の案内、埼玉県 of 救急電話相談(＃7119) of 利用方法、救急車 of 適正利用、児玉郡内 of 医療機関情報等について、保健師による家庭訪問や、各市町 of 広報紙等を活用してお知らせしました。今後も継続的に啓発事業を展開し、救急医療体制 of 確保を目指します。

■福祉

分野基本目標 KPI

指標		ハローワーク本庄管内障害者雇用率			
基準値(H30)		2.11%		目標値(R6)	2.3%
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	2.14%	2.24%	2.29%	2.32%	2.44%

(ア)障害福祉の充実

事業 No	4		事業名	障害者地域生活支援事業		
取組内容	社会福祉法人等と委託契約を締結し、圏域内に居住する障害児者を対象とした次の障害者地域生活支援事業を行う。 ・障害者相談支援事業(障害者基幹相談支援事業含む)・手話通訳者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業・障害者地域活動支援センター事業 ・障害者レクリエーション活動等支援事業					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	36,341	5,970	6,331	12,050	60,692	
R5(予算)	44,287	7,395	7,399	13,421	72,502	
KPI 進捗状況	指標		利用件数(相談件数・手話通訳者件数・活動支援件数) 利用者数(手話研修参加者数・レク利用人数)			
	基準値(H30)		19,842 件 511 人	目標値(R6) 22,000 件 550 人		
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		19,327 件 522 人	11,725 件 175 人	11,783 件 274 人	10,372 件 229 人	10,500 235 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	地域の情報や課題を互いに共有しながら、必要なサービスを提供できるよう事業を継続実施しています。					A
今後の展開 課題等	障害者が自分らしく、自立した生活を送れるよう、事業所や関係機関と連携し、事業の充実に努めていく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

障害のある人が住み慣れた地域の中で自立した生活を送ることができるよう、次の事業を障害者生活支援事業者や関係市町と連携して実施しています。

・障害者相談支援事業(R5.4～R5.12)

障害者及びその家族などからの福祉サービスの利用、生活相談等に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助を行います。

相談支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
3,725 件	103 件	165 件	552 件	4,545 件

・手話通訳者派遣事業(R5.4～R5.12)

聴覚及び音声・言語障害者の日常生活及び社会生活におけるコミュニケーション手段を確保し、社会参加を促進します。

種別	手話通訳者件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
派遣	585 件	99 件	18 件	23 件	624 件
来所	261 件	13 件	10 件	14 件	327 件
計	846 件	112 件	28 件	37 件	1023 件

・手話奉仕員養成研修事業(R5.4～R5.12)

聴覚及び音声・言語障害者の社会生活でのコミュニケーションを支援する手話奉仕員を養成するための講習会を実施します。

・障害者地域活動支援センター事業(R5.4～R5.12)

創作的な活動や生産活動、社会との交流促進など、障害者の地域活動の支援を行います。

活動支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
2,043 件	732 件	168 件	240 件	3,183 件

・障害者レクリエーション活動等支援事業(R5.4～R5.12)

スポーツレクリエーション活動を通じて、体力増強、交流、余暇活動の支援を行い、障害者スポーツを普及するため、各種スポーツレクリエーション教室を開催します。

利用人数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
181 人	0 人	7 人	21 人	209 人

【参考】令和 4 年度実績

・障害者相談支援事業(R4.4～R4.12)

相談支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
3,300 件	182 件	276 件	573 件	3,622 件

・手話通訳者派遣事業(R4.4～R4.12)

種別	手話通訳者件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
派遣	540 件	42 件	19 件	23 件	624 件
来所	256 件	45 件	6 件	20 件	327 件
計	796 件	87 件	25 件	37 件	951 件

・障害者地域活動支援センター事業(R4.4～R4.12)

活動支援件数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
1,741 件	427 件	121 件	129 件	2,418 件

・障害者レクリエーション活動等支援事業(R4.4～R4.12)

利用人数(居住地別)				
本庄市	美里町	神川町	上里町	計
181 人	0 人	7 人	21 人	209 人

事業 No	5		事業名	障害者就労支援センター事業		
取組内容	就労支援事業者と委託契約を締結し、圏域内に居住する障害者を対象とした就労支援（企業開拓、生活支援、定着支援等）を行うとともに、圏域の就労支援ネットワークを構築する。					
事業費 （千円）	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	9,346	1,385	1,762	3,527	16,020	
R5(予算)	9,089	1,395	1,823	3739	16,046	
KPI 進捗状況	指標		ハローワーク本庄管内障害者雇用率			
	基準値(H30)		2.11%	目標値(R6)		2.3%
	実績 （年度）	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2.14%	2.24%	2.29%	2.32%	2.44%
	R5 進捗状況					進捗評価
	ハローワーク本庄管内の雇用率は、障害者雇用促進法の改正や圏域のネットワークによる連携等により上昇している。					A
今後の展開 課題等	効率的な事業展開・障害者就労支援となるよう、 常に情報や課題を共有しながら、事業所とも連携し事業の充実に努めていく。第 6 期障害福祉計画に盛り込んだ事業の実現に向けて取り組む。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

障害者の就労機会の拡大を図り、自立と社会参加の促進に寄与するため、NPO法人に委託して障害のある人を対象とした就労支援（企業開拓、生活支援、定着支援）を行っています。圏域で就労支援センターを共同設置することにより、情報の一元化が図られ、ハローワークや企業との連携ネットワークが構築されてきており、1 年当たりの就労定着率が埼玉県内 41 センター中 6 位（R2 年 11 月現在）と、県内でも上位の就労実績をあげています。

・障害者就労支援センター事業(R5.4～R5.12)

支援内容	支援件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
就労支援	3,900 件	168 件	780 件	1,515 件	6,363 件
生活支援	496 件	33 件	101 件	226 件	856 件
計	4,396 件	201 件	881 件	1,741 件	7,219 件

【参考】令和 4 年度実績

・障害者就労支援センター事業(R4.4～R4.12)

支援内容	支援件数(居住地別)				
	本庄市	美里町	神川町	上里町	計
就労支援	3,441 件	142 件	648 件	1,488 件	5,719 件
生活支援	416 件	19 件	72 件	210 件	717 件
計	3,857 件	161 件	720 件	1,698 件	6,436 件

事業 No	6	事業名	児玉郡市障害者自立支援協議会			
取組内容	児玉郡市障害者自立支援協議会を設置し、当事者、市民、事業者、行政等の関係機関が連携して各種課題の解決を目指した協議を行う。 障害のある人が自分らしく暮らせるための地域づくりについて、地域全体で考える協議会を開催する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	5	5	5	5	20	
R5(予算)	5	5	5	5	20	
KPI 進捗状況	指標		参加機関数			
	基準値(H30)		39 機関	目標値(R6)		55 機関
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		39 機関	41 機関	43 機関	45 機関	45 機関
	R5 進捗状況					進捗評価
	個別事例の検討や地域課題の解決に向けた調査や協議を各部会で検討を進めている。					A
今後の展開 課題等	運営会議、二つの専門部会の活動が充実し、それに伴って地域の核となる支援者の連携が強化されている。地域における課題の整理や資源の有効活用など、さまざまな場面において、協議会の協力が不可欠なものになってきている。 今後は、精神障害に対応した地域包括ケアや医療的ケア児等の支援についての協議を行っていく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

自立支援協議会は、全体会、運営委員会、専門部会（相談支援・就労支援）の3部構成とし、運営委員会では、協議会全体の調整を行いながら、地域の社会資源を紹介する「ふくしマップ」を年 1 回作成しています。相談支援部会は、地域内の指定特定相談支援事業所の参加を得て、社会資源の情報共有や障害者支援策等について関係機関との意見交換等を行っています。

また、就労支援部会では、就労施設の情報交換、関係機関との意見交換、直Bアセスメント方法の調整、地域の交通資源の把握等を行っています。

協議会により地域における支援のネットワークが形成され、連携の強化及び相談支援体制の強化につながる活動を行っています。

ふくしまマップ表紙



ふくしまマップ内容例

[illegible][illegible]

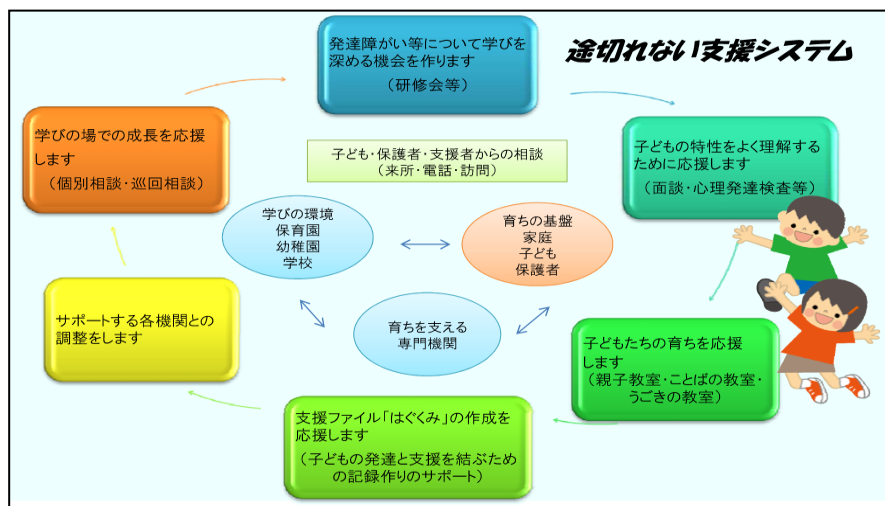
(イ)発達障害児への支援体制の充実

事業 No	7		事業名		発達障害支援事業		
取組内容	発達に何らかの支援を要する子どもたちを早期に発見し、特性に応じた適切な支援を継続的に行うため、関係市町職員の専門性の向上を図る。 ・研修事業 ・関係機関との情報交換						
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計		
R4(決算)	13,587	0	0	0	13,587		
R5(予算)	15,339	0	0	0	15,339		
KPI 進捗状況	指標		研修等の回数				
	基準値(H30)		2 回		目標値(R6)		4 回
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)	
		1 回	1 回	1 回	1 回	2 回	
	R5 進捗状況					進捗評価	
	本庄市では市内小学校等の関係機関を対象とした、子どもの発達に関する研修会を実施し、うち2回について各町に研修情報を共有した。 各町において、目に見えて表現できる事業費や研修会の実施はないが、福祉、母子保健、子育て、教育等の各分野で発達支援は日々行われており、ニーズや課題を認識している。					B	
今後の展開 課題等	母子保健を始め、障害福祉、こども家庭、教育等、子どもを取り巻く様々な分野や関係機関との一体感や連携を意識しながら、地域支援体制の充実を図りたい。 今後も、対面もしくは動画配信による講演会の開催し、研修会の案内や資料配付等を関係市町職員向けに行う。また、地域の現状や課題、活用できる資源等について情報共有をしていく。						

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

発達障害等で、支援が必要な子どもや家族・支援者に対し、相談・巡回支援・療育的指導等の実施のほか、研修会の開催等により、発達障害の理解を深め、発達障害を持つ子どもたちの支援環境の充実を図るための取組を行っています。

これらの事業の充実と発達障害児への継続的支援体制を築くために、各市町の現状把握、課題分析、今後の取組について検討を進めています。



本庄市発達教育支援センター「すきっぷ」

【事業実施状況】令和 5 年度（見込み）

- さくらんぼ教室（個別支援） 実施回数 50 回 参加実人数 350 人 延人数 440 人
- 訪問（個別支援） 延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校・その他〕100 回
実人数 800 人 延人数 1,000 人
- 訪問（クラス単位の支援）延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校〕70 回 延 7,000 人
- 事例検討会 実施回数 12 回 参加実人数 12 人 延人数 12 人
（参加者：教頭、コーディネーター、学年主任、担任、生徒指導担当等）
- 研修会〔学校・保育所（園）・幼稚園等職員・市民〕 実施回数 7 回 参加延人数 100 人

【参考】令和 4 年度実績

【事業実施状況】令和 4 年度

- さくらんぼ教室（個別支援） 実施回数 49 回 参加実人数 282 人 延人数 432 人
- 訪問（個別支援） 延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校・その他〕126 回
実人数 915 人 延人数 998 人
- 訪問（クラス単位の支援）延巡回数〔保育所（園）・幼稚園・学校〕79 回 延 7,873 人
- 事例検討会 実施回数 13 回 参加実人数 13 人 延人数 14 人
（参加者：教頭、コーディネーター、学年主任、担任、生徒指導担当等）
- 研修会〔学校・保育所（園）・幼稚園職員・市民〕 実施回数 3 回 参加延人数 157 人

(ウ)在宅医療・介護連携の推進

事業 No	8		事業名		本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進事業		
取組内容	本庄市児玉郡医師会と業務委託契約締結及び関係団体と連携して圏域の医療・介護の一体的な提供体制を構築する。						
	・地域の医療・介護の資源の把握						
	・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討						
	・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進						
	・医療・介護関係者の情報共有の支援						
	・在宅医療・介護連携に関する相談支援						
	・医療・介護関係者の研修						
	・地域住民への普及啓発						
	・在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携						
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計		
R4(決算)	3,404	949	1,034	1,569	6,956		
R5(予算)	3,697	986	1,061	1,618	7,362		
KPI 進捗状況	指標		医療・介護連携に関する会議開催回数				
	基準値(H30)		6 回		目標値(R6)		6 回
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)	
		15 回	13 回	13 回	22 回	22 回	
	R5 進捗状況					進捗評価	
	従来からの取組内容8項目を勘案しつつ、R3 年度より3 か年の重点取組内容とした「入退院支援」の最終年度として、医療・介護の円滑な連携のため、「脳梗塞再発予防のためのチェックシート」を作成し、介護支援専門員に配布した他、研修会を開催し、連携体制の強化を図りました。					A	
	今後の展開 課題等						
令和 6 年度からの重点取組内容については、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に係る調査や介護支援専門員に対するアンケート等の結果から、「看取り支援」とし、在宅医療連携拠点との委託及び共同事業を継続的に実施して、在宅医療・介護連携を推進します。							

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

- ・在宅医療・介護連携推進協議会 2 回(見込み)
- ・在宅医療・介護連携推進事業担当課長会議 2 回
- ・在宅医療・介護連携推進事業 拠点・市町担当者会議 1 回
- ・在宅医療・介護連携推進事業担当者会議 17 回(見込み)

このほか、

- ・医療・介護の地域資源について一覧表の更新
- ・「人生会議(ACP)」について 1 市3町で同時期に広報掲載
- ・わたしの連絡先カードの周知及び配布(1 市3町統一)
- ・入退院調整ルール改訂
- ・医療・介護連携を推進するための研修会
- ・入退院支援「脳梗塞再発予防のためのチェックシート」の作成と介護支援専門員への配布
- ・人生会議出前講座を本市市児玉郡医師会の協力により、開催予定
- ・本庄保健所担当職員から医療提供体制等の情報提供や取組に対する助言を受けながら、圏域の連携体制の推進を図っています。

図 4 8つの事業項目の見直しイメージ(介護保険法施行規則改正イメージ)



在宅医療と介護連携イメージ(在宅医療の4場面別に見た連携の推進)



重点取組内容

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

【在宅医療・介護連携】

(エ)地域密着型サービスの相互利用支援

事業 No	9	事業名		地域密着型通所介護の指定手続きの簡素化事業		
取組内容	圏域内の自治体間の手続を簡素化することを目的に、圏域内で「地域密着型通所介護の指定同意に関する協定(仮称)」の締結を目指す。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	—	—	—	—	—	
R5(予算)	—	—	—	—	—	
KPI 進捗状況	指標		協定締結自治体数			
	基準値(R2)		0 自治体	目標値(R6)	4 自治体	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		—	0 自治体	4 自治体	4 自治体	4 自治体
	R5 進捗状況					進捗評価
	令和 5 年 4 月 1 日運用を開始し、該当事業所から毎月利用状況の報告を受け、状況を把握した。					A
今後の展開 課題等	毎月利用状況を把握し適切に運用する。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

毎月：利用者報告に基づき利用状況の把握を行いました。

■産業振興

分野基本目標 KPI

指標		新規就農者数			
基準値(H30)		21 人		目標値(R6)	25 人
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	20 人	16 人	13 人	13 人	12 人

(ア)農業の振興

事業 No	10		事業名	担い手育成支援事業		
取組内容	児玉地域担い手育成総合支援協議会をはじめとする各種団体に対し、財政支援、事業の運営支援、研修会等の情報提供等の支援を行う。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	20	10	10	10	50	
R5(予算)	20	10	10	10	50	
KPI 進捗状況	指標		新規就農相談者数			
	基準値(H30)		33 人	目標値(R6)		25 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		20 人	18 人	31 人	26 人	30 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	自治体により程度の差はあるものの、全体的におおむね増加傾向にあり、継続していくことにより分野基本目標 KPI 達成につながるものと思慮される。					A
今後の展開 課題等	・新規就農者の継続的な確保 ・圏域外への情報発信 ・離農者とのマッチング(農業用ハウス)					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

児玉地域担い手育成総合支援協議会等の農業関係団体への補助金支出などを通じ、活動支援を行いました。

児玉地域担い手育成総合支援協議会では、農業の担い手塾事業を実施して新規就農者の育成に取り組んでいます。その他、比較的若手の農業従事者で構成される農業青年会議所では、春まつり等の各種イベントで、地元農産物の即売会を実施しています。

また、国の補助金を活用した新規就農者に対する支援を行い、担い手確保・育成に向けた取組を推進しています。

新規就農案内



分野基本目標 KPI

指標		観光入込客数			
基準値(H30))		2,809,876 人	目標値(R6)	2,950,369 人	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	2,837,374 人	2,070,524 人	2,051,771 人	2,421,356 人	2,273,615 人

(イ)観光の振興

事業 No	12	事業名	本庄地域広域観光振興協議会の運営			
取組内容	広域的な観光事業を進めるために協議会を運営し、圏域内の連絡調整を図ると共に、効果的な観光事業を研究する。また、広報宣伝及び催事等の連携を推進する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	81	11	14	31	137	
R5(予算)	81	11	14	31	137	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)		2,950,369 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2,837,374 人	2,070,524 人	2,051,771 人	2,421,356 人	2,273,615 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各地のイベントや祭りが開催され、観光入込客数も徐々に回復してきている。					B
今後の展開 課題等	各市町の観光資源の広域的な課題等を共有しながら、圏域内の連携をさらに図る必要がある。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

本庄地域広域観光振興協議会では、本庄・児玉地域観光戦略を踏まえた広域的な観光振興を図る事業の実施に向け活動しました。

各地域のイベント情報や観光情報を本庄地域広域観光振興協議会のフェイスブックページ「ほんたま観光ガイドマップ」で公開し、圏域内の観光PRに努めました。

また、新幹線本庄早稲田駅構内多目的スペースの圏域内を紹介する「彩北未来空間」において、地域の観光情報の発信を行っています。

今後も圏域内の連携を推進し、効果的な観光事業を研究・計画します。

広域観光フェイスブックページ
『ほんたま観光ガイドマップ』



事業 No	13	事業名	広域観光推進事業			
取組内容	圏域内の観光資源の魅力や多様性を活かした広域的な観光振興を図るため、本庄地域広域観光振興協議会を中心として次の事業を実施する。 ・観光情報共有化事業 ・観光ルート推進事業 ・合同観光キャンペーン事業 ・地域特産品開発事業					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	2,203	1,323	416	3,245	7,187	
R5(予算)	658	510	885	3,382	5,435	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)		2,950,369 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2,837,374 人	2,070,524 人	2,051,771 人	2,421,356 人	2,273,615 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各地のイベントや祭りが開催され、観光入込客数も徐々に回復してきている。					B
今後の展開 課題等	各市町の観光資源の広域的な課題等を共有しながら、圏域内の連携をさらに図る必要がある。					

【令和5年度の取組状況(見込み)】

圏域内の観光資源の多様性を活かした広域的な観光振興を図るため、観光情報共有化事業、観光ルート推進事業、地域特産品開発事業を行いました。

9月に「道の駅はなぞの」で、11月に「ほんじょう産業フェスタ」で、令和4年度に作成した手提げ袋を用いて観光パンフレット等を配布し、観光PRを行いました。

観光 PR



事業 No	14	事業名	上里サービスエリア周辺地区活性化事業			
取組内容	上里サービスエリア、上里スマートインターチェンジを活用した観光資源の開発により圏域内の産業振興及び産業振興に係るネットワーク形成を図るため、上里サービスエリア周辺地区の整備及び当該地区へ接続するアクセス道路等の整備を行う。 ・上里サービスエリア周辺地区の公園ゾーンの整備 ・上里サービスエリア周辺地区の農業体験ゾーンの整備 ・上里サービスエリア周辺地区の水辺ゾーンの検討 ・上里サービスエリア周辺地区への道路網（アクセス道路等）の整備					
事業費 （千円）	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	0	0	0	204,418	204,418	
R5(予算)	0	0	0	157,556	157,556	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)		2,950,369 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2,837,374 人	2,070,524 人	2,033,160 人	2,365,378 人	2,273,615 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	公園ゾーンにおいて、「このはな marchē」を初開催。また、農業体験ゾーンにおいて令和2年度から実施している「田んぼオーナー事業」では、例年通り首都圏内外から多数の応募があった。道路網整備については、引き続き神流リバーサイドロード築造工事を発注しており、早期完成を目指す。					B
今後の展開 課題等	神川町や群馬県藤岡市方面からのアクセス性を高めるとともに、産業の発展に向けた物流効率性を高めるため、神流リバーサイドロードの整備を引き続き実施する。また、河川敷を活用した「水辺ゾーン」の整備に向け関係機関等と必要な調整を行う。併せて、圏域内からの利用者も想定した駐車場の拡充についても、引き続き検討を行う。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

令和 3 年 10 月に公園ゾーンとして「このはな芝生広場」を整備し、供用開始後も休憩用ベンチや外周フェンス設置等の整備を順次進めている。また、同広場において、このはなパーク上里に位置する事業者等と連携し、10 月 14 日に「このはな marché2023」を初開催した。

農業体験ゾーンでは、田んぼオーナー事業の募集枠を前年度同等の規模で実施し、県内をはじめ首都圏、遠方では山形県の方がオーナーとなっている。また、田んぼオーナーを対象に野菜収穫体験(年数回)も実施している。

道路網整備については、神流リバーサイドロード築造工事を 570m発注している。

事業 No	15		事業名	自転車利活用推進事業		
取組内容	起伏に富んだ地形をもち、多くの名跡を抱える圏域において、観光客や地域への滞在者等の交流人口の増加を目的とし、自転車を活用したサイクルツーリズムを推進し、関係事業を実施する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	0	0	0	0	0	
R5(予算)	0	0	0	0	0	
KPI 進捗状況	指標		観光入込客数			
	基準値(H30)		2,809,876 人	目標値(R6)	2,950,369 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2, 837, 374 人	2, 070, 524 人	2,051,771 人	2,421,356 人	2,273,615 人
	R5 進捗状況				進捗評価	
	圏域内における自転車利活用の更なる推進に向け、サイクルマップを配布した。				B	
今後の展開 課題等	作成したサイクルマップの普及を図るとともに、イベント等の事業を模索していく必要がある。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

令和 2 年度に作成した「本庄地域定住自立圏サイクリングガイドブック デイトリップ by ペダル」を圏域内各所に配布し、マップの普及に努めた。マップ策定に併せて設置したサイクルラックについても引き続きサイクリストに利用いただいており、サイクリストの利便性向上に繋がっている



■ 文化

分野基本目標 KPI

指標		開催期間における入場者数			
基準値(R2)		6,563 人	目標値(R6)	1,000 人	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	—	6,563	2,660	2,735 (1,482)	3,000 (1,500)

※()は展示会場入場者数

(ア)文化財の保護・利活用の推進

事業 No	16	事業名	本庄早稲田の杜ミュージアム事業			
取組内容	本庄早稲田の杜ミュージアム事業の一環として、関係市町と協同して出土文化財を活用した「本庄早稲田の杜地域連携展覧会」を実施する。 「連携展」は、平成 26 年度から平成 29 年度まで 4 回の実績があるが、これを引き継ぎ、本庄早稲田の杜ミュージアムの企画展として開催する。具体的には、関係市町が収蔵する未活用の資料を集成・展示し、地域の時代像を明示して、広く一般に公開するとともに、公開講座、展示解説、体験講座等を行う。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	728	0	0	0	728	
R5(予算)	1,018	0	0	0	1,018	
KPI 進捗状況	指標		開催期間における入場者数			
	基準値 (R2 実績値見込)		6,563 人	目標値(R6)		1,000 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		—	6,563 人	2,660 人	2,735 人 (1,482 人)	3,000 人 (1,500 人)
	R5 進捗状況					進捗評価
	「弥生時代の児玉・深谷地域」と題した展覧会を 1/10～3/24 に開催。関連事業として講演会(3 回)及びワークショップ等を開催。					A
今後の展開	今後も継続して展覧会を実施する。これまで関連事業として講演会等を開催しているが、展示資料を解説するガイドツアーやワークショップの開催など展覧会をより幅広い層の					

課題等	方に楽しんでもらえる事業を検討したい。また、設定するテーマや展示資料についても、考古以外の資料を公開する機会を設けられるよう検討していきたい。
-----	---

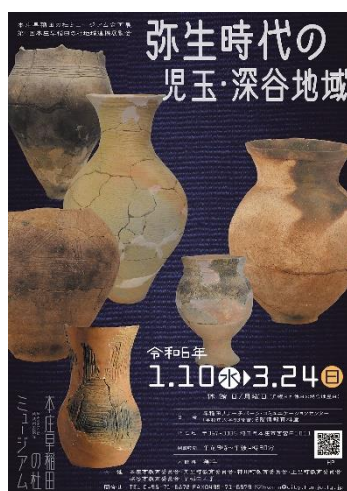
【令和5年度の取組状況(見込み)】

タイトル	本庄早稲田の杜ミュージアム企画展／第4回本庄早稲田の杜地域連携展覧会 『弥生時代の児玉・深谷地域』		
会 期	令和6年1月10日(水)～3月2日(日)		
会 場	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 2階情報資料室		
開館時間	午前9時～午後4時30分		
休 館 日	月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)	入 館 料	無料
概 要	児玉・深谷地域では、遺構や遺物の乏しい縄文時代晩期前半～縄文・弥生移行期(弥生時代早期・前期前半)に続いて、弥生時代前期後半～中期初頭ごろより、丘陵の裾部や台地縁辺、段丘上を中心に、散発的ではあるが遺構や遺物がみられるようになります。また、弥生時代中期前半には、丘陵・台地上だけでなく沖積地中の微高地上にも、再葬墓や墓坑とも目される土坑が造られます。弥生時代中期後半の空白期をはさみ、弥生時代後期以降、丘陵上に小規模な集落が点在しながら、集結する傾向が顕著にみられます。 今回の展覧会では、主に発掘調査によって出土した資料を出品し、児玉・深谷地域における弥生時代の人々の生活と文化を紹介する。		
講 演 会	第1回 令和6年1月28日(日) 「再葬墓の時代—弥生文化黎明の不思議な世界—」 講師 石川 日出志 氏(明治大学文学部教授)		
	第2回 令和6年2月17日(土) 「深谷の弥生時代」 講師 幾島 審 氏(深谷市教育委員会文化振興課)		
	第3回 令和6年3月2日(土) 「神川町の弥生時代」 講師 北山 直人 氏(神川町教育委員会生涯学習課)		
	(第1回～第3回共通)		
講演時間	午後2時～3時30分(開場 午後1時30分)		
会 場	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 3階レクチャールーム1		
対 象	どなたでも	定 員	100名
		費 用	無料

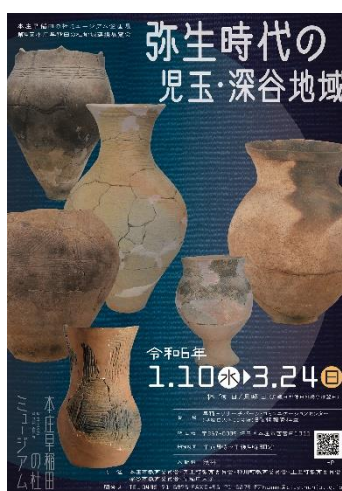
ワークショップ	弥生人のモノづくりに迫る！ミニ弥生土器をつくろう
	概要 本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」を見学して弥生土器の特徴を学んだあと、自然乾燥で固まる粘土を使って、自分だけのオリジナル土器をつくる。
	開催日時 令和6年2月3日（土）・4日（日）午前10時～/午後2時～
	会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
	対象 ミュージアム主催の土器づくりに初めて参加する方
ガイドツアー	定員 各回10名（先着順） 費用 200円（製作キット代）
	開催日時・講師 令和6年2月17日（土）午後3時45分～ 講師 幾島 審 氏（深谷市教育委員会文化振興課） 令和6年3月2日（土）午後3時45分～ 講師 北山 直人 氏（神川町教育委員会生涯学習課）
	概要 展覧会担当者が展示資料を解説する
	会場 展覧会会場
	対象 どなたでも 定員 なし 費用 無料

※3月もイベント開催予定（決定次第追記します）

ポスター



チラシ



■その他

分野基本目標 KPI

指標		圏域内消費生活センター利用件数			
基準値(H30)		443 件		目標値(R6)	550 件
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	425 件	409 件	357 件	402 件	462 件

(ア)消費生活相談体制等の充実

※ 9 月末現在 231 件

事業 No	17	事業名	消費生活センター相互利用事業			
取組内容	本庄市及び上里町に消費生活相談員を配置し、消費生活センターを設置する。圏域の住民を対象とした消費生活相談を実施し、消費生活相談体制の充実を図る。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	3,042	0	0	949	3,991	
R5(予算)	3,139	0	0	1,133	4,272	
KPI 進捗状況	指標		救済率			
	基準値(H30))		99%	目標値(R6)		100%
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		100%	99%	99%	99%	99%
	R5 進捗状況					進捗評価
	前年同様、本庄市及び上里町の相談窓口を圏域で相互利用し、消費生活相談員からの助言、関係機関への斡旋等を行う中で、相談者の救済を図った。					A
今後の展開 課題等	消費者トラブルは複雑化かつ多様化しており、消費者被害の手口は年々、悪質化、巧妙化している。そのため引き続き、現在の相談体制を維持していき、相談窓口の相互利用の活用を推進することにより、消費者被害の早期発見や拡大防止に繋げ、被害の軽減や問題の早期解決を図っていく必要がある。 また、生活困窮や障害のある方など、消費生活相談の範疇では解決しき					

	れないケースがあるため、対応する相談員の負担となっている。市町の福祉部署や関係機関などの適切な相談窓口へつなぐことができるよう、圏域間での連携体制を強化する必要があると考える。
--	--

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

本庄市と上里町に消費生活相談員を配置し、圏域の住民を対象とした消費生活相談を実施しています。

本庄市と上里町において週 5 日体制の相談対応を行っており、圏域で相談窓口の相互利用が可能となっています。

本庄市及び上里町における相談件数は、前年度より増加傾向にあります。また、複雑で多様な相談に対応するため、今後も引き続き充実した相談体制が必要と見込まれます。

・消費生活相談件数(R5.4～R5.12)

※12 月末現集計後入力

実施場所	相談日	相談件数(居住地別)				
		本庄市	美里町	神川町	上里町	計
本庄市	月・水・木・金	169 件	29 件	20 件	13 件	231 件
上里町	火・金	21 件	8 件	4 件	72 件	105 件

【参考】令和 4 年度実績

・消費生活相談件数(R4.4～R4.12)

実施場所	相談日	相談件数(居住地別)				
		本庄市	美里町	神川町	上里町	計
本庄市	月・水・木・金	172 件	9 件	15 件	27 件	223 件
上里町	火・金	16 件	3 件	11 件	47 件	77 件

電話による相談



2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 地域公共交通

分野基本目標 KPI

指標		圏域内公共交通事業総利用者数 (JR 及び十王自動車バス利用者数を除く)			
基準値(H30)		455,255 人	目標値(R6)	488,772 人	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	475,935 人	354,800 人	406,931 人	406,208 人	445,258 人

(ア)公共交通サービスの確保と公共交通ネットワークの構築

事業 No	18	事業名	生活バス路線運行支援事業 (本庄駅～寄居車庫線)			
取組内容	JR本庄駅から美里町を経由してJR寄居駅を結ぶバス路線を維持・確保するため、バス会社に必要な支援を行う。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	2,600	2,600			5,200	
R5(予算)	2,200	2,200			4,400	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		11,603 人	目標値(R6)		12,299 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		13,605 人	8,375 人	9,226 人	10,346 人	10,522 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	関係市町等で組織する県北都市間路線バス維持対策協議会の事業推進に努め、バス会社に必要な支援を行った。本路線が維持されたため、本庄市や美里町住民の通勤、通学及び通院等の利便性が確保された。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B

今後の展開 課題等	利用者の減少や人件費の増加等による経費の拡大が考えられるため、利便性の向上や利用者確保を目指し、運行手法について検討を続ける必要がある。 車両減価償却費は、令和 4 年度で償却期間が終了するため、令和 5 年度の負担金は減少している。
----------------------	---

【令和 5 年度の実績状況(見込み)】

JR本庄駅～美里町経由～JR寄居駅を結ぶバス路線を維持・確保するため、県北都市間路線バス維持対策協議会を通じて支援を行い、通勤・通学や通院等の利便性の向上を図った。

本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、圏域内のバス路線の利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込んでいる。

【実績】(R5.4～R5.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～寄居車庫	年中無休	有料	7,104 人	29.1 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～寄居車庫	年中無休	有料	7,081 人	25.7 人

事業 No	19	事業名	生活バス路線運行支援事業 (①本庄駅～赤城乳業千本さくら工場線) (②本庄駅～神泉総合支所線)			
取組内容	JR本庄駅と児玉地域及びJR本庄駅と上里町を經由して神川町を結ぶバス路線を維持・確保するため、バス会社に必要な支援を行う。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	23,063		1,919	1,018	26,000	
R5(予算)	18,030		2,606	1,429	22,065	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		①250,102 人 ②142,153 人	目標値(R6)	①265,108 人 ②150,682 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		①262,923 人 ②148,609 人	①182,736 人 ②127,235 人	①207,172 人 ②148,019 人	①205,123 人 ②143,672 人	①212,736 人 ②172,607 人
	R5 進捗状況				進捗評価	
	関係機関と調整を行い、関係市町が共同してバス会社と運行協定を締結し、負担割合に応じて補助金を交付した。また、今後も本路線を維持、確保するため、バス会社に必要な費用負担や関係機関との調整に努める。 昨年度と比較すると、利用者は減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。				B	
今後の展開 課題等	収入の減少や車両の老朽化等による経費の拡大が考えられるため、利便性の向上や利用者確保を目指し、運行手法について検討を続ける必要がある。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

JR本庄駅～児玉地域(児玉線)、JR本庄駅～上里町経由～神川町(神泉線)を結ぶバス路線を維持・確保するための支援を行い、通勤・通学や通院等の利便性の向上を図った。

本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、圏域内のバス路線の利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込んでいる。

また、児玉線は、(新生)児玉高校の開校に合わせ、令和 5 年 4 月から路線延長を行った。神泉線も、神泉総合支所の移転に合わせ、令和 5 年 4 月から路線延長を行った。

【実績】(R5.4～R5.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～児玉折返場(～赤城乳業千本さくら工場)	年中無休	有料	125,017 人	584.2 人
本庄駅～神泉総合支所	年中無休	有料	100,539 人	469.8 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1 日平均利用者数
本庄駅～児玉折返場(～赤城乳業千本さくら工場)	年中無休	有料	158,859 人	577.7 人
本庄駅～神泉総合支所	年中無休	有料	111,538 人	405.6 人

事業 No	20	事業名	町営バス運行事業(阿久原線・矢納線)			
取組内容	神泉総合支所から藤岡市鬼石地区を結ぶバス路線(阿久原線)及び藤岡市鬼石地区から冬桜の宿神泉を結ぶバス路線(矢納線)を運行する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)			8,931		8,931	
R5(予算)			10,353		10,353	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		1,778 人	目標値(R6)		2,000 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		1,671 人	1,130 人	1,076 人	1,040 人	853 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	運行業務に関して委託契約を結び、適正な運行が維持できるよう努めた。今年度より路線の延長を実施し、地域住民及び観光客の利便性を向上させた。					B
今後の展開 課題等	新型コロナウイルス感染症の分類変更等の影響から利用客がやや増加している。観光施設への路線の延長も行い、観光資源の掘り起こしや魅力アップ事業と連携しながら利用客確保に努めていく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

神川町神泉総合支所から藤岡市鬼石地区を結ぶバス路線(阿久原線)及び藤岡市鬼石地区から冬桜の宿神泉を結ぶバス路線(矢納線)の運行を行い、矢納、阿久原地域の高齢者等の通院、買い物及び通勤等の利便性の向上を図った。

【実績】(R5.4～R5.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
神川町町営バス	運休: 1月1～3日	有料	853人	3人

【参考】令和4年度実績(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
神川町町営バス	運休: 1月1～3日	有料	901人	3人

事業 No	21	事業名	本庄市デマンド交通運行事業			
取組内容	平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年10月から新しい市内公共交通サービスとしてデマンド交通の運行を開始した。 本庄市内を「本庄北」「本庄南」「児玉市街地」「児玉山間地域」の4区域に分け、利用者の予約に基づき区域内の停留所間を各1台の車両が年末年始・日曜・休日を除いた午前 8 時から午後 5 時まで運行する。 現在は、市内に 400 箇所以上の停留所を設置しており、乗り継ぎを行うことにより、デマンド交通で市内の移動が可能となっている。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	23,265				23,265	
R5(予算)	23,458				23,458	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		12,165 人	目標値(R6)		13,000 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		11,665 人	9,129 人	10,396 人	10,814 人	10,754 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	デマンド交通・、民間路線バス・シャトル便が連携し、快適に市内を移動できる公共交通ネットワークが構築できている。 高齢者等交通弱者の通院や買い物などの日常生活の移動手段を確保した。デマンド交通が運行することで公共交通不便地区の解消が図れている。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B
今後の展開 課題等	利用者の多くが定期的利用者で、利用客の硬直化が課題となっている。利用者の年齢層は高い(70 歳以上の利用者が過半数)ことから、需要の掘り起こし及び利用促進を図るにあたり、紙面による周知・PRに工夫を凝らしていく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年 10 月から 1 年間の新しい市内公共交通サービスとしての実証運行を経て、平成 26 年 10 月より本格運行している。市内を 4 つの区域に分け、利用者の予約に基づき区域内の停留所間を運行している。

本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、デマンド交通の利便性向上策として、運行形態の見直しや予約システムの改善等について検討することを盛り込んでいる。

【実績】(R5.4～R5.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均 利用者数
本庄市デマンド交通	月～土(日・祝・年末年始除く)	大人 300 円	7,121 人	36.0 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均 利用者数
本庄市デマンド交通	月～土(日・祝・年末年始除く)	大人 300 円	7,896 人	35.6 人

事業 No	22	事業名	本庄市シャトル便運行事業				
取組内容	平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年 10 月から本庄駅ー本庄早稲田駅間を結ぶシャトル便の運行を開始した。シャトル便は、路線定期で毎日運行する。						
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計		
R4(決算)	7,293				7,293		
R5(予算)	7,663				7,663		
KPI 進捗状況	指標		利用者数				
	基準値(H30)		12,390 人		目標値(R6)		13,133 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)	
		13,279 人	8,671 人	10,120 人	11,802 人	12,132 人	
	R5 進捗状況					進捗評価	
	デマンド交通、民間路線バス・シャトル便が連携し、快適に市内を移動できる公共交通ネットワークが構築できた。 本庄駅周辺市街地と本庄早稲田駅周辺市街地を結ぶことができた。 昨年度と比較すると、利用者は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B	
今後の展開 課題等	利用者の増加を目指し、市外在住者の利用が多いという特性を踏まえ、情報発信の方法に工夫を凝らしていく。広報や駅自由通路等を通して PR を行い、増加の一途をたどる運転免許証返納者等の移動手段のない方への周知に努める。						

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

平成 25 年 3 月に策定した「本庄市総合交通計画」に基づき、同年 10 月から 1 年間の実証実験を経て、平成 26 年 10 月から高崎線本庄駅と新幹線本庄早稻田駅間を結ぶシャトルバスを運行している。駅間のアクセスが向上したほか、2 駅間に 8 つの停留所を設け、駅間に立地する施設の利用も促進している。

令和 4 年 10 月から試行的に時刻表の見直しを行っている。利用状況を確認しつつ、令和 5 年 10 月から本格実施している。

また、本庄市は、誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保することを目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、はにぼんシャトルの利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込んでいる。

【実績】(R5.4～R5.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
はにぼんシャトル	毎日(無休)	大人 200 円	7,931 人	37.1 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均利用者数
はにぼんシャトル	毎日(無休)	大人 200 円	7,895 人	28.7 人

事業 No	23	事業名	美里町タクシー利用料金補助事業			
取組内容	町内循環バスに代わる制度として、「運転免許証の交付を受けていない」「運転免許証は持っていても運転することができない」などの、交通弱者の方にタクシー券を配布する事業を実施する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)		3,952			3,952	
R5(予算)		6,377			6,377	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		3,827 人		目標値(R6) 4,250 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		3,025 人	1,680 人	2,544 人	2,594 人	3,456 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	利用者アンケートの結果をもとに、利用券 1 枚当たり金額を 600 円、1 回当たりの利用上限枚数を 5 枚と引き上げ、利便性の向上を図った。					B
今後の展開 課題等	新型コロナウイルス感染症の位置付けが 5 類に変更され、人の移動が活発になってきているが、目標値は達成しない見込みである。利用者の増加を図るため、アンケートに基づく制度の改正や広報誌への掲載、他部署との連携し制度の周知に努める。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

町内循環バスに代わり、平成 26 年度より運転免許証を持っていない等の交通弱者の方にタクシー利用券を交付する制度を実施(平成 28 年度より本格運用)している。タクシーを利用することにより、いつでもドア to ドアで町内外への移動が可能となり利便性の向上が図られた。

【実績】(R5.4～R5.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均 利用者数
美里町タクシー利用料金 補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚(1 枚 600 円) (1回 5 枚まで)	2,304 人	9.4 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均 利用者数
美里町タクシー利用料金 補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚(1 枚 500 円) (1回 4 枚まで)	1,945 人	7.1 人

事業 No	24	事業名	神川町外出支援タクシー利用料金補助事業			
取組内容	65 歳以上又は福祉タクシー利用料金助成事業対象の障害者手帳所持者で、運転免許証を所持していない者が、医療機関への通院、買物等に出かけるためにタクシーを利用する際の利用券を交付し、タクシー利用料金の一部を補助する事業を実施する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)			8,768		8,768	
R5(予算)			10,350		10,350	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		4,937 人	目標値(R6)	6,100 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		4,932 人	4,063 人	4,200 人	4,800 人	3,206 人
	R5 進捗状況				進捗評価	
	R4年度に福祉タクシー利用料金助成事業の対象となる障害者手帳所持者も対象者となるよう制度の拡充を行った。利用者数(利用回数)は R4 年度とほぼ同様となっている。				B	
今後の展開 課題等	広報紙等へ掲載し、登録を呼びかける。 利用者にとってより利用しやすい制度となるよう検討していく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

平成 27 年度より、65 歳以上で、運転免許証を持たない高齢者の方を対象に、通院や買い物等の日常生活に必要な外出支援としてタクシー補助券を交付している。令和4年度から、福祉タクシー利用料金助成事業の対象となる障害者手帳所持者も対象者に加える制度変更を行った。

【実績】(R5.4～R5.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均利用者数
神川町外出支援タクシー利用料金補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚 (1 枚 500 円) (1回 6 枚まで)	3,206 人	13.1 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

事業名	運行日	補助枚数	利用者数	1日平均利用者数
神川町高齢者外出支援タクシー利用料金補助事業	毎日(無休)	年間最大 72 枚 (1 枚 500 円) (1回 6 枚まで)	3,790 人	14.0 人

事業 No	25	事業名	上里町コミュニティバス運行事業			
取組内容	町民アンケートと町民参加型のワークショップを実施し、平成 27 年 3 月「上里町地域公共交通サービス計画」を策定。この計画に基づき、平成 28 年 3 月 1 日より町内を走るコミュニティバスの運行を開始した。運行開始時は幹線の役割をする中央ルートにマイクロバス2台、支線の役割をする 2 つのルートにワゴン車をそれぞれ 1 台の計 4 台で運行していたが、令和元年にダイヤ改正を実施し、支線ルート(北部ルートと南部ルート)を隔日運行とした。令和 2 年 3 月策定した「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき支線ルートの再編を令和 3 年 3 月に実施した。また、令和 3 年から持続可能な公共交通を実現するため、財源の確保を目的にバス車内への有料広告掲載の募集を開始した。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)				45,863	45,863	
R5(予算)				46,998	46,998	
KPI 進捗状況	指標		利用者数			
	基準値(H30)		16,300 人		目標値(R6) 22,300 人	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		16,018 人	11,781 人	14,178 人	16,017 人	18,992 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	地域住民の移動手段の確保及び交通空白地域の解消が図れている。 目標値には届いていないが、昨年度と比較すると、利用者数は増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用者数より増加している。					B
今後の展開 課題等	利用者の年齢層が高いことから、紙面での周知や PR に工夫を凝らし、新規利用者の獲得に努めていく。 「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、検討した次期公共交通の運行形態について制度構築をしていく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

町民アンケートと町民参加型ワークショップを実施し、平成 27 年 3 月「上里町地域公共交通サービス計画」を策定しました。この計画に基づき、平成 28 年 3 月 1 日より町内を走る有料のコミュニティバスの運行を開始。幹線の役割をする中央ルートにマイクロバス 2 台、支線の役割をする 2 つのルート(隔日運行)にワゴン車をそれぞれ 1 台の計 4 台で運行している。

高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料パスについては、交付対象者要件を拡大し、利用者数の増加を図るとともに、バスの利用案内を積極的に実施していく。また、自主財源の確保を目的にしたバス車内への有料広告の募集についても継続していく。

駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討した。

【実績】(R5.4～R5.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均 利用者数
上里町コミュニティバス	月～土(週 6 日、祝日含む)	100 円	12,661 人	60.6 人

【参考】令和 4 年度実績(R4.4～R4.12)

バス路線	運行日	料金	利用者数	1日平均 利用者数
上里町コミュニティバス	月～土(週 6 日、祝日含む)	100 円	11,784 人	50.6 人

事業 No	26	事業名	公共交通ネットワーク構築調査事業			
取組内容	利用者を含めた住民アンケート調査等による交通実態調査を実施し、圏域内の公共交通に関する現状の分析や課題の整理を行い、新たな公共交通体系を構築する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	0	0	0	0	0	
R5(予算)	0	0	3,000	0	3,000	
KPI 進捗状況	指標		圏域内公共交通事業総利用者数 (JR 及び十王自動車バス利用者数を除く)			
	基準値(H30)		455,255 人	目標値(R6)		488,772 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		475,935 人	354,800 人	406,931 人	406,208 人	445,258 人
	R5 進捗状況					進捗評価
	本庄市は、「誰もが公共交通を利用しやすく、将来にわたり持続可能な交通体系を維持・確保すること」を目指し、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。計画には、公共交通に関する市民意識調査等の結果に基づき、圏域内のバス路線の利便性向上策として、時刻表の定期的な見直しやICカードの導入等について検討することを盛り込んでいる。 神川町は、令和 5 年 3 月に策定した「神川町地域公共交通計画」に基づき、自らの力で自由に移動できる手段を持たない高齢者等に対し、日常生活での利便性向上を図るため、公共交通空白地域等に新たな移動手段を導入する事業の検討を行った。具体的には、新たな移動手段を導入するためのニーズ調査や運行計画の策定を行い、ニーズやコスト等を把握した。 昨年度と比較すると、圏域内の公共交通利用者は減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値には届いていない。					B
	今後の展開 課題等	今後、運転免許証の自主返納者や高齢者等の交通弱者が増え、公共交通の役割はますます重要となる。 誰もが使いたい時に使える公共交通を目指すため、圏域全体の新たな公共交通体系				

	の構築を検討し、アンケートやヒアリング、また、実証運行等により、継続的に公共交通の調査、研究及び必要に応じた見直しを行う。 本庄市では、「本庄市総合交通計画」の策定から 10 年が経過することから、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。本庄市交通政策協議会で圏域内の交通ネットワークについても検討していく予定である。 また、上里町では「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、上里町地域公共交通活性化協議会で圏域内のバス路線の利便性向上について検討していく予定である。 神川町では、「神川町地域公共交通計画」に基づき、新たな移動手段として、デマンド交通の導入を検討しており、今後、実証運行を実施する予定である。
--	--

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

住民ニーズを踏まえた、効率的で効果的な圏域内公共交通ネットワークの構築を目指し、情報の整理や住民ニーズの把握に努め、利便性の高い公共交通システムについて、調査研究を行っている。

本庄市では、「本庄市総合交通計画」の策定から 10 年が経過することから、令和 5 年 3 月に「本庄市地域公共交通計画」を策定した。本庄市交通政策協議会で圏域内の交通ネットワークについても検討している。

神川町は、令和 5 年 3 月に策定した「神川町地域公共交通計画」に基づき、自らの力で自由に移動できる手段を持たない高齢者等に対し、日常生活での利便性向上を図るため、公共交通空白地域等に新たな移動手段を導入する事業の検討を行った。具体的には、新たな移動手段を導入するためのニーズ調査や運行計画の策定を行い、ニーズやコスト等を把握した。

■道路等の交通インフラの整備

分野基本目標 KPI

指標		整備が完了した路線			
基準値(H30)		—		目標値(R6)	15 路線
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	1 路線	3 路線	4 路線	4 路線	6 路線
※積算					

(ア)道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備

事業 No	27		事業名	生活幹線道路等の整備事業		
取組内容	日常生活の利便性の向上や安心・安全の確保を図るため、国・県道のネットワークを補完する生活幹線道路等の整備を行う。 本庄市(児玉町)駅前通線、本庄市第1級21号線、美里町1級2号線、神川町道1ー4号線、神川町道1級5号線外主要幹線、上里町児玉工業団地アクセス道路、神保原駅北東通り線、藤木戸・勝場線等。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	70,520	58,355	160,556	113,017	402,448	
R5(予算)	103,599	93,874	171,340	89,680	458,493	
KPI 進捗状況	指標		整備等を行っている路線数			
	基準値(H30)		1 路線	目標値(R6)	7 路線	
	実績 (年度) ※積算	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		3路線	4路線	6路線	6路線	6路線
	R5 進捗状況				進捗評価	
	本庄市道第1級21号線は物件調査、用地買収及び物件補償を進めている。美里町道1級2号線は用地買収、物件補償を進めている。神川町道1級4号は整備が完了した。上里町児玉工業団地アクセス道路は整備が完了する見込み。				A	
今後の展開 課題等	今後も地権者や関係者との調整を図りながら事業を進め、用地が確保できた時点で工事に着手する。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

生活の利便性の向上や安全性の確保を図り、円滑な通行となるよう生活幹線道路等における道路の拡幅や歩道整備などの整備を計画しています。

本庄市の(児玉町)駅前通線及び市道第 1 級 21 号線は、用地買収及び物件補償を行うとともに、今後の物件補償に向けて物件調査を進めています。

美里町の町道1級2号線は、用地買収及び物件補償を進めています。

神川町の町道1級4号線は整備が完了しました。

上里町の児玉工業団地アクセス道路は、工事が完了し、令和6年3月に供用開始見込みです。また藤木戸・勝場線は設計が完了し、測量を進めています。

引き続き、国・県道のネットワークを補完する市町道の整備を推進していきます。

事業 No	28	事業名	幹線道路等の整備促進事業			
取組内容	圏域内の道路ネットワークの構築に必要な国・県道等の整備を促進するための活動を行う。 国道 17 号、国道 462 号、県道秩父児玉線、県道花園本庄線、県道長瀬児玉線、国道 254 号本庄藤岡間バイパス。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	225	0	30	120	375	
R5(予算)	255	0	50	120	425	
KPI 進捗状況	指標		整備等を行っている路線数			
	基準値(H30)		5 路線	目標値(R6)		6 路線
	実績 (年度) ※積算	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		5 路線	5 路線	5 路線	5 路線	5 路線
	R5 進捗状況					進捗評価
	国道 17 号は国土交通省などに要望活動を実施した。県道花園本庄線は埼玉県に要望活動を実施した。国道 462 号、国道 254 号本庄藤岡間バイパスは埼玉県、群馬県へ要望活動を実施した。					A
今後の展開 課題等	早期の完成を目指し、関係市町と連携して、整備促進活動を行う。					

【令和 5 年度 of 取組状況(見込み)】

圏域を結ぶ重要な路線となる国道 17 号(本庄道路)、国道 462 号、国道 254 号本庄藤岡間バイパスなどの整備に向けて、関係する自治体と連携し、国や県及び各関係機関などに対し要望活動を実施し、整備の促進をしています。

国道 17 号(本庄道路)建設促進期成同盟会では、令和 5 年 8 月 7 日に国土交通大臣政務官へ要望活動を実施しました。

今後も引き続き、整備を促進するため活動を行っていきます。



(イ)スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備

事業 No	29	事業名		上里スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業		
取組内容	産業振興及び産業振興に係るネットワーク形成、また、交流人口の増加を図るため上里スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備を推進する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	0	0	0	193,493	193,493	
R5(予算)	0	0	0	152,388	152,388	
KPI 進捗状況	指標		整備済道路延長割合			
	基準値(H30)		0.0km	目標値(R6)		2.0km
	実績 (年度) ※積算	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		0.2km	0.1km	0.43km	0.38km	0.57km
	R5 進捗状況					進捗評価
	神流リバーサイドロードは、570m工事を発注し、令和 6 年 3 月に完成する見込みである。そのうち、250mについては盛土工事を行っている。					B
今後の展開 課題等	神流リバーサイドロードは令和 6 年度については 330m 工事を発注する予定であり、早期完成を目指す。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

上里スマートインターチェンジへのアクセス性の向上により、圏域内の産業振興及び交流人口の増加が図られる。上里スマートインターチェンジが位置する上里サービスエリア周辺地区(愛称「このはなパーク上里」)は、農業・工業・観光交流拠点と位置づけられており、当該事業によりその拠点としての効果は圏域全体により一層波及することが期待されています。

神流リバーサイドロードは、工事を 570m 発注しました。引き続き上里スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備を推進します。

■地域の生産者や消費者等の地域連携による地産地消
分野基本目標 KPI

指標		地産地消啓発活動回数			
基準値(H30))		30 回	目標値(R6)	30 回	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	30 回	9 回	10 回	18 回	26 回

(ア)地産地消の推進

事業 No	30	事業名	地産地消推進事業			
取組内容	各地域の農産物の販売を促進するため、即売会の開催やJA埼玉びびきの農業協同組合等の農産物直売所の相互連携の支援を行う。地産地消の拡大を図るための普及啓発活動を行う。農産物のブランド化や販路拡大を推進する。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	0	118	1,299	1,030	2,447	
R5(予算)	0	830	1,300	1,494	3,624	
KPI 進捗状況	指標		地産地消啓発活動回数			
	基準値(H30)		30 回	目標値(R6)		30 回
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		30 回	9 回	10 回	18 回	26 回
	R5 進捗状況					進捗評価
	イベント等の回数は新型コロナの影響で落ち込んでいたものの、コロナ流行前の水準に回復しつつある。					B
今後の展開 課題等	PR 効果の高いイベント等の開催を検討・実施していく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

本庄市本泉地区にある「ふれあいの里いずみ亭」では地元産のそばを提供し、埼玉ひびきの農協直売所の各店舗では、様々な地元農産物の販売や収穫体験などを行い、地産地消の推進を図っています。

また、JAとの連携のもと学校給食で地元産野菜を定期的にご利用しており、食育の取組の一環として地元産農産物の利用拡大について調整を進めています。

今年度は、コロナ禍からの回復の兆しも見え始め、各市町にて、きゅうり・たまねぎ収穫体験、じゃがいも掘り、さつまいも掘り、ブルーベリーイベント等を開催するなど、圏域内外のイベント等への参加機会が徐々に増えてきつつあります。引き続き、埼玉ひびきの農協や生産農家の協力のもと、地元農産物の試食提供、新鮮農産物の販売を行い消費者へのPR等を行います。

事業 No	31	事業名	環境保全型農業推進事業			
取組内容	農薬や化学肥料の使用量を減らすなど、環境に配慮した環境保全型農業を推進する農業者等に対し、支援(補助事業)を行う。					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	3,268	674	805	1,489	6,236	
R5(予算)	3,800	710	1,133	2,252	7,895	
KPI 進捗状況	指標		減農薬・減化学肥料栽培に取り組む作付面積			
	基準値(H30)		7,349a		目標値(R6) 10,000a	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		7,043a	6,660a	7,471a	8,210a	7,141a
	R5 進捗状況					進捗評価
	本事業は、国の補助事業である。年度や自治体によって取組面積の増減はあるものの、おおむね安定的な推移となっている。					B
今後の展開 課題等	新規に取り組む農業者の掘り起こしを行う。 要件をクリアしていくための技術的な助言やサポート体制を構築する。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

有機農業推進や環境にやさしい農業を推進する団体への支援(補助事業)を実施しています。
また、平成 24 年度から環境保全型農業支援対策事業として、環境保全に取り組んでいる農業団体等に対し、支援(補助事業)を行っています。今後も引き続き、関係市町、関係機関との連絡調整や情報の共有化を図り、環境に配慮した農業の推進に努めます。

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

分野基本目標 KPI

指標		早稲田大学との連携事業数			
基準値(H30)		46 事業	目標値(R6)	62 事業	
実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
	43 事業	11 事業	33 事業	40 事業	41 事業

■人材の育成等

事業 No	32	事業名	早稲田大学との連携事業			
取組内容	早稲田大学と本庄市との協働連携に関する基本協定に基づく連携事業の圏域への拡大を検討し、実施する。 ・市内の小・中学校での総合学習の取組(本庄市) ・市町職員を対象とした研修会の開催					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	104	34	34	34	206	
R5(予算)	105	35	35	35	210	
KPI 進捗状況	指標		早稲田大学との連携事業数			
	基準値(H30)		46 事業	目標値(R6)	62 事業	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		43 事業	11 事業	33 事業	40 事業	41 事業
	R5 進捗状況				進捗評価	
	新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、従来実施していたイベントの開催が行われるなど、各分野において連携事業を実施することができた。				B	
今後の展開 課題等	今後も連携を続けるとともに、新たな早稲田大学との関わり方を模索していく必要がある。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

早稲田大学との協働連携に関する基本協定に基づく連携事業の圏域への拡大を検討し、実施している。

○早稲田大学本庄高等学院「大久保山学」

早稲田大学本庄高等学院における講義「大久保山学」に職員が研修として参加し、高校生に対して担当業務の説明や意見交換を行った。

実施期間:令和 5 年 7 月 6 日～令和 6 年 2 月 29 日

場所:早稲田大学本庄高等学院

参加者数:早稲田大学本庄高等学院 2 年生 84 名、本庄市職員 8 名

○市内の小・中学校での総合学習の取り組み

早大本庄高等学院との連携により、小山川・元小山川の河川調査を実施。

(6 月・10 月 藤田小)

○第 60 回本庄～早稲田 100 キロハイク

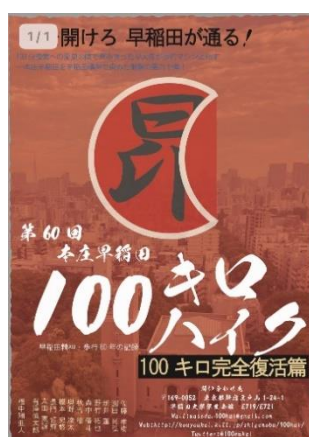
令和元年以降4年ぶりに本庄市で開会式を行った。

開会式日程:6月3日(土)午前8時 スタート:午前8時50分

開会式会場:JA埼玉ひびきの本店駐車場

市内経路:JA埼玉ひびきの駐車場から男堀川沿いに進み、東西通り線に出た後、県道本庄寄居線との交差点から美里町方面に進み、国道 254 号、国道 140 号を經由して最初の休憩所となる寄居町桜沢公民館に向かう。

参加定員:700人(大学生・大学院生650人、一般50人)



事業 No	33	事業名	子ども大学ほんじょう			
取組内容	子ども大学ほんじょう実行委員会を組織し、子どもたちが、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、自分たちの地域について学び郷土愛を育む「ふるさと学」、自分をみつめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学ぶことで、自ら考え、行動できるような人材を育成する。 早稲田大学、早稲田大学大学院、早稲田大学本庄高等学院、協賛企業、関係団体と連携し、学校や家庭では経験・体験できない様々な「講義」を行い、子どもの知的な好奇心を刺激する学びの機会を提供する。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	130	50	50	70	300	
R5(予算)	130	50	50	70	300	
KPI 進捗状況	指標		受講者満足度			
	基準値(H30)		91%	目標値(R6)		95%
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		95%	未開催	未開催	アンケート未 実施	95%
	R5 進捗状況					進捗評価
	計画通り全6回、講義を開催できた。今後、アンケート調査を行い、満足度調査を行う。					A
今後の展開 課題等	各市町の連携協定を結ぶ大学と連携し、子ども大学ほんじょうの特色である、体験型の講座を提供していく。					

【令和 5 年度の取組状況(見込み)】

7月から12月までに月 1 回程度講義を開き、全 6 回すべての講義を行うことができた。

- ①7 月2日【ふるさと学】「児玉郡市のマスコットキャラクターをとおして郷土を知ろう！」
- ②7月30日【はてな学】「理科実験教室～遠くまで飛ぶ、大きな飛行機を作ろう～」
- ③9月24日【はてな学】「私たちができるエコライフとは？エネルギーや環境問題を学んでエコライフを実現しよう！～」
- ④11月5日【生き方学】「食べ物の“ロス”について考えよう」
- ⑤11月19日【ふるさと学】「企業見学(朝日工業様)～地元の会社のお仕事を見学しよう～」
- ⑥12月3日【生き方学】「視力が悪い方の日常を体験し、私たちにできることは何か？を考えよう」

事業 No	34	事業名	本庄地域地方創生推進研究会			
取組内容	人口増、地域経済の活性化及び魅力あるふるさとの創生を目指して、圏域の特性や施策についての情報交換や調査研究を行い、活力ある圏域へとつながる事業を推進する。 ・情報発信事業 ・空き家活用事業 ・結婚支援事業 ・就活支援事業					
事業費見込 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	310	130	140	180	760	
R5(予算)	870	360	380	510	2,120	
KPI 進捗状況	指標		若年者(20～39 歳)、転入者数(外国人含む) (総務省住民基本台帳人口移動報告)			
	基準値(H30)		2,740 人	目標値(R6)		3,000 人
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		2,873 人	2,563 人	2,763 人	3,052 人	R6.4 公表見込み
	R5 進捗状況					進捗評価
	コロナ禍を経て発達したデジタル技術の活用等による婚活イベントを開催するなど、人口増に向けた取組を実施することが出来た。					B
今後の展開 課題等	各市町と連携し、連携事業の実施について検討していく必要がある。					

超少子高齢化による人口減少社会を迎え、人口増、地域経済の活性化及び魅力あるふるさとの創生を目指して、圏域の特性や、施策についての情報交換や調査研究を行い、活力ある圏域へとつなげる事業を推進している。

さらに、この圏域では、若い世代の流出が共通課題であることから、圏域の市町を含む県北 7 市町で構成する「埼玉県北部地域地方創生推進協議会」を設立し、移住促進・婚活支援・就職支援・住環境についての情報発信等の取り組みを実施している。

メタバース婚活

令和6年1月28日 参加者：47名

埼玉県北部地域地方創生推進協議会  **SAITAMA出会いサポートセンター本庄**



恋たま

メタバースとリアルで見つける ポンキの出逢い

埼北縁結び

仲人タバターでサポート! 婚活に役立つ「トナリ」グッズお新入り!



関東初! メタバース&リアル婚活開催!
 プロの仲人がサポートしながら本気の婚活!
 メタバース(仮想空間)だからこそ、お相手の内面がよく見える!
 メタバースの後は、リアルでのご対面!
 埼玉県の公的支援センター「恋たま」の運営だから安心!
 本気の出逢い、見つけてみませんか?

メタバース婚活	リアル婚活 (Valentine's Party)	会場
2024年 1月28日(日)	2024年 2月11日(日)	はにほんプラザ
Part.1 10:00~13:00	Part.1 11:00~14:00	(本店市街地1~1-1)
Part.2 14:00~16:00	Part.2 16:00~19:00	

対象 両方参加できる方が申し込みにいただけます。(応募者多数の場合は抽選)
 Part.1 20代〜30代の恋たま会員または恋たま会員以外の独身男女各12名
 Part.2 30代〜40代の恋たま会員または恋たま会員以外の独身男女各12名

参加費 恋たま会員の方 2,500円・恋たま会員以外の方 5,000円

**参加費全額に
お祝い金**
**「おまじりん」を
プレゼント!**
 (例) 10,000円以上
 申込受付開始

【主催】(メタバース) 埼玉県北部地域地方創生推進協議会 (リアル婚活) SAITAMA出会いサポートセンター本庄
 【問い合わせ先】一般社団法人メタバース振興協会 muryy@360nifty.com 詳細には、イベント特設サイトをCHECK!
 【問い合わせ先】SAITAMA出会いサポートセンター本庄 (本庄所在地は公益社団法人)
 Eメール kotsumahoraji@ponki-jp.akyo.or.jp TEL. 0495-24-2755 イベント参加チケットは
 数量をこくすください。

[illegible]

事業 No	35		事業名	共通課題に即した職員研修		
取組内容	関係市町の研修等に関する情報を共有化し、関係市町職員の参加を推進する。 関係市町の共通する課題に即した研修等を共同で実施する。必要に応じ、専門的な知識を持った外部人材を講師等として活用する。 児玉郡市広域市町村圏組合主催の研修を通して、関係市町職員の共通課題の認識及び行政能力の強化を図る。					
事業費 (千円)	本庄市	美里町	神川町	上里町	計	
R4(決算)	—	—	—	—	—	
R5(予算)	—	—	—	—	—	
KPI 進捗状況	指標		合同研修回数			
	基準値(H30)		年間 4 回	目標値(R6)	年間 6 回	
	実績 (年度)	R1	R2	R3	R4	R5(見込み)
		年間 4 回	年間 3 回	年間 3 回	年間 3 回	年間3回
	R5 進捗状況				進捗評価	
	関係市町の共通する課題として、コロナ禍を通して多様化する市民からの苦情やクレーム等の影響で心身に支障をきたす職員が多いことが挙げられるため、「ストレスコーピング・レジリエンス研修」および「カスタマーハラスメント研修」を実施する。 また、圏域職員の交流を深めるため、グループワークによる研修を実施した。				B	
今後の展開 課題等	今後も関係市町の共通する課題に応じた研修を実施していく必要がある。また、テーマによっては、各町で提携している大学等の教授を紹介してもらう等、受講者にとって有益な学びの機会となるよう模索するとともに、周知において工夫をすることで受講者を増やす方法を検討する必要がある。					

【令和5年度の取組状況(見込み)】

各市町それぞれが抱える課題の共有や意見の交換を行いながら、共通課題に関する情報の共有化を図り、研修のテーマとした。

「定住自立圏合同研修」

令和6年1月11日(木)

講 師：公認心理士・産業カウンセラー 近藤 秀世

参加者：22名(本庄市12名、上里町4名、神川町3名、美里町3名)

「カスタマーハラスメント研修」

令和6年1月9日(木)～令和6年2月中旬予定

講 師：株式会社 ドリームホップ 綾部 和幸

参加者：未定(会計年度任用職員を含む全職員を対象)及び各町職員

「定住自立圏人材育成研修会」

令和5年11月24日(金)実施

講 師：組織開発室 内田 龍之介 先生

参加者：圏域内自治体職員 29名程度

内 容：圏域職員間の意見交換会

本庄地域定住自立圏職員研修会

こんなお悩みありませんか??

〇〇事業が
うまくいかない…

他の市町は
どうして
いるんだろう?

普段話せない成功体験や課題を共有する
意見交換会(ワークショップ)
を開催します!!

圏域職員で課題を
解決するための
アイデアを考えよう

11月24日(金)13:30~16:45
本庄市役所6階大会議室

定員
50名

講師：組織開発推進室
内田 龍之介 氏

研修コーディネーター
鳥取県立大学経済学部助教授、大卒卒業後、様々な業種で営業・社内
営業・指導等を経て、経営企画・会計・総務・人事・IT・プロジェクト
リーダー・プロジェクトコンサルティングを経験。現在は結核菌感染症
室の代表として、千葉県大学等の機関を対象に講師を務めるなど、
プロジェクトコンサルタントとして活躍中。

問い合わせ 本庄市役所 企画課 政策係
直通：0495-25-1157(内線3214)